



手際よく作業を行なう電力センターの職員の皆さん

## 一人暮らしの高齢者から感謝の声

北海道電力苫小牧統括電力センターでは、遠浅地区の独居老人世帯の電気器具の清掃をボランティアで毎年行っていますが、今年は11月6日と7日に約30軒の家を職員が訪問しました。作業に当たった職員の方は、脚立に上がって蛍光管をはずし、汚れを落とした後に元に戻しスイッチを入れて確認していましたが、「冷蔵庫や暖房器具などすべて行くと作業時間は1軒当たり約40分ほどですね」と話していました。

「以前より明るくなりました。電気のプロに点検を受け安心です」と喜ぶ女性は「足腰が弱くなり、高い所は不安なのでとても助かっています」と感謝していました。



ゴール前での攻防戦

**優勝目指して熱い攻防戦**  
シーズン開幕となる第11回安平町長杯小学生アイスホッケー大会が11月3日と4日、せいこドームで行われました。地元をはじめ恵庭市や旭川市などから6チームが参加。1年生から3年生までの低学年と4年生以上の高学年の部に分かれてのトーナメント戦。優勝を目指して熱い攻防が繰り広げられました。が、早来ギャロップの低学年チームは初戦敗退。高学年チームは決勝戦で敗れ惜しくも準優勝でした。

## ぬくもりの湯で地元の農産物を販売

11月10日、11日にぬくもりの湯で、町とJAとまこまい広域追分支所の共催により農産物の販売会を実施。地元産の長いも、高品質米のたんとう米、ゴボウ、ジャガイモ、切り花などを販売しました。

町内のほか千歳市や岩見沢市から入浴に来られた方も足を止めて新鮮な野菜を購入。ぬくもりの湯を利用し、農産物を1000円以上買った方には『安平町特産品セット』や『入浴券』が当たる抽選会も行われました。



**防犯教室で被害対策を**  
11月9日、安平町防犯協会主催による「体験実践型防犯教室」が追分公民館と早来町民センターで開催されました。玄関ドアの不正開錠や窓ガラス破りなどの状況を実演し、一人ひとりが防犯意識を持つことの大切さを学びました。防犯のキーワードは次のとおりです。泥棒は玄関や窓のいずれかから侵入。泥棒（ピッキング犯）は玄関の鍵を10秒程度で開ける。泥棒は侵入に手間のかかる家は入らない。外国人窃盗団は「コソ泥」ではなく「強盗」に及ぶ。以上のことを踏まえて被害に遭わない対策をしましょう。